

第32回横浜マリノールカップ女子Bゾーン決勝 8/14(日)

志木スワローズミニバスケットボールスポーツ少年団(埼玉) 45

V S

柿生フィリーズミニバスケットボールクラブ(川崎) 20



1Q(志木9-5柿生)

志木は2-1-2のゾーンディフェンス、柿生はマンツーマンでスタート。

志木⑥のミドルシュートで先制。⑥⑧のドライブイン、ミドルシュートで得点を重ねる。

一方、柿生はゾーンディフェンスを攻めきれずに、なかなかシュートを決められない。

終盤⑥のミドルシュートで得点するも、1Qは、9-5と志木リードで終了。

2Q(志木14-10柿生)

志木は1-3-1のゾーンディフェンス、柿生はマンツーマン。

志木④のドライブインに対するファールで得たフリースローで志木先制。

柿生は④⑦のミドルシュートで応戦し、点差を縮める。

中盤、柿生④負傷により、ベンチに下がる。その後、志木④がドライブイン、ミドルシュートリバウンドシュートと得点し、23-15と志木リードで前半を折り返す。

3Q(志木14-2柿生)

志木は2-2-1ゾーンプレスから1-3-1のゾーンディフェンス、柿生はマンツーマンディフェンス。

志木は④のドライブイン、ミドルシュートで連続得点を決め、点差を広げる。

一方、柿生は④が戻るもゾーンディフェンスを攻めきれず、苦しいシュートを打ち、リバウンドも抑えられ、得点を奪えず。

27-17と志木がリードを広げ、3Q終了。

4Q(志木8-3柿生)

両チームとも3Qとディフェンスは同じ。

志木は④の1対1からのオフENSEを起点とし、得点を重ねるも、柿生もディフェンスリバウンドを頑張り、簡単に得点を許さない。

柿生はゾーンプレスを突破するも、寄りの早いディフェンスに苦しい体勢からのシュートとなり決められず、点差を詰めることが出来ない。

終始④を中心に安定した試合運びをした志木が45-20で柿生に勝利し、Bゾーンの優勝を決めた。

協力／ 横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会